

地域自立・再生と地球環境のための のOSS活用

—NPO OSSAJ、MSCOの活動に参加しませんか

2009.1.24

NPO法人 オープンソースソフトウェア協会 (OSSAJ) 理事

NPO法人 地域自立ソフトウェア連携機構 (MSCO) 理事

株式会社シーエーエル 顧問

小碓 暉雄

オープンソースソフトウェア(OSS)が普通に使われる時代 企業や個人や地域はいかに生きるか

- 発展目覚ましい中国、インド等に仕事を奪われな
いために、教育や社会システムは？
…IQ(知能指数)よりCQ(好奇心指数)とPQ(熱意指数)、肩書きや
階層構造的な企業連携よりコミュニティ的連携、etc
- 個人がグローバル世界の中で主役になること
…偉大な共同作業(まとめ役)、偉大な連携役、偉大な広報・説
明役、偉大な夢想人(ブルーオーシャン戦略者(注))、etc
- 地域も人も、ローカルな存在を、グローバル世界
でかけがえのない存在とすること
神楽坂、湯布院、旭山動物園のような存在に
- 地球規模の環境改善・保全へ待ったなし！

(注)ブルーオーシャン戦略:競争のない市場の創造(ハーバード
ビジネスプレス刊行)

オープンソースソフトウェア協会(OSSAJ)からの提言

地球環境の視点でITを見直せば

- オープンソース活用で、なるべく同じようなソフトウェアを作らない、買わない、占有しない
- 特に、業務 / 業種向けアプリケーションのオープンソース化と普及を推進しよう
- オープンソースでグリーンITに寄与しよう

ユーザ視点でOSS利用情報の共有を図る



TAGORE

地域自立ソフトウェア連携機構(MSCO)からの提言

小さな経済で豊かなライフスタイルへ

地域再生と地域自立の仕組み作りのために、

- オープンソースソフトウェアの活用と流通による低コスト・高信頼性のシステム作り

- 産業の生産性より、環境改善・保全の優先

< 活動例 > : 佐渡トキ生息環境再生のためのビオトープ作りと、トキ検定のためのMoodleシステム作り

- 出稼ぎに人が出てゆく地域社会から、外から人が訪ねてくる地域社会へ

- グローカル(ローカルにしてグローバル)な町作り、人作り

< > 湯布院町、東京・神楽坂、旭山動物園、…のようなオンラインワンを目指して

MSCO、OSSAJの協働活動方針

—その設立趣意と担うべき役割—

ボランティア参加を原則として

- 特定製品に偏らず、OSSの利用に関する
 - 啓蒙・普及のための情報収集・共有、技術調査、提言等
 - 人材育成のための研修・研究
 - 他関連団体の活動支援、協業
 - 資料、書籍等物品の作成・販売
- 特定課題のための分科会活動
 - OSSビジネスモデル事例研究(セミナー等)
 - 個別の地域再生・自立のためのOSS活用提案、人材育成



NPO活動への共鳴と会員参加を募ります。

OSS活用推進の主要対象分野

OSSの効用を生かすべき分野

- 誰もが使うオフィスソフト(＊)
- 地球環境対応(温暖化対策、省エネ)
- 教育分野
- 医療・介護・福祉分野

対象業務分野の特性

- ほぼ全ての国民の生活に関する課題を抱えている
- 国際化時代に日本固有の制度や慣習による課題がある
- SI事業面での課題も大きい



OpenOffice.orgを使いませんか

- パソコン作業で必須なオフィス文書作成に、そのソフトウェアを購入したり、購入するベンダーに拘束されることから、解放されませんか
- オープンソースOpenOffice.orgならMicrosoft Officeとほぼ互換で使えます
- ISO標準文書形式ODF (Open Document Format) 採用
- マルチプラットフォーム
Microsoft Windows (95以降、OO.o3.0は2000以降)
Mac OS X (10.4以降)
Linux、FreeBSD、Solaris (X86とUltraSPARC)
- PDF出力を標準装備、Acrobatライセンス不要
- ダウンロードサイト:
<http://ja.openoffice.org/download/3.0.0/>



MS OfficeとOpenOffice.orgの対比

機能	MS Office	OpenOffice.org
ワープロ	Word	Writer
表計算	Excel	Calc
プレゼンテーション	PowerPoint	Impress
データベース	Access	Base
メール・情報管理	Outlook	—
図形描画	—	Draw
数式	—	Math

- MS AccessとBaseの互換性はテーブルとクエリのみ
- MS PowerpointとImpressのレイアウト、アニメの互換性は低い
- マクロ(VBA)、100%互換ではない

全社的なOpenOffice.org導入事例

- アシスト株式会社(従業員760名)
- 住友電気工業株式会社(従業員3900名)
- NTTコムウェア株式会社(従業員約5000名)
- 会津若松市役所(職員1080名)
- その他公開事例: 沖縄県浦添市、栃木県二宮町、高知県四万十町、大分県津久見市、日本体育大学、会津大学、山形県立寒河江工業高校、...

共通する導入効果として、長期的なMS Office更新料金の削減(アシストで1700万円)、自治体等で進む標準文書の相互運用性

OpenOffice.orgの特徴

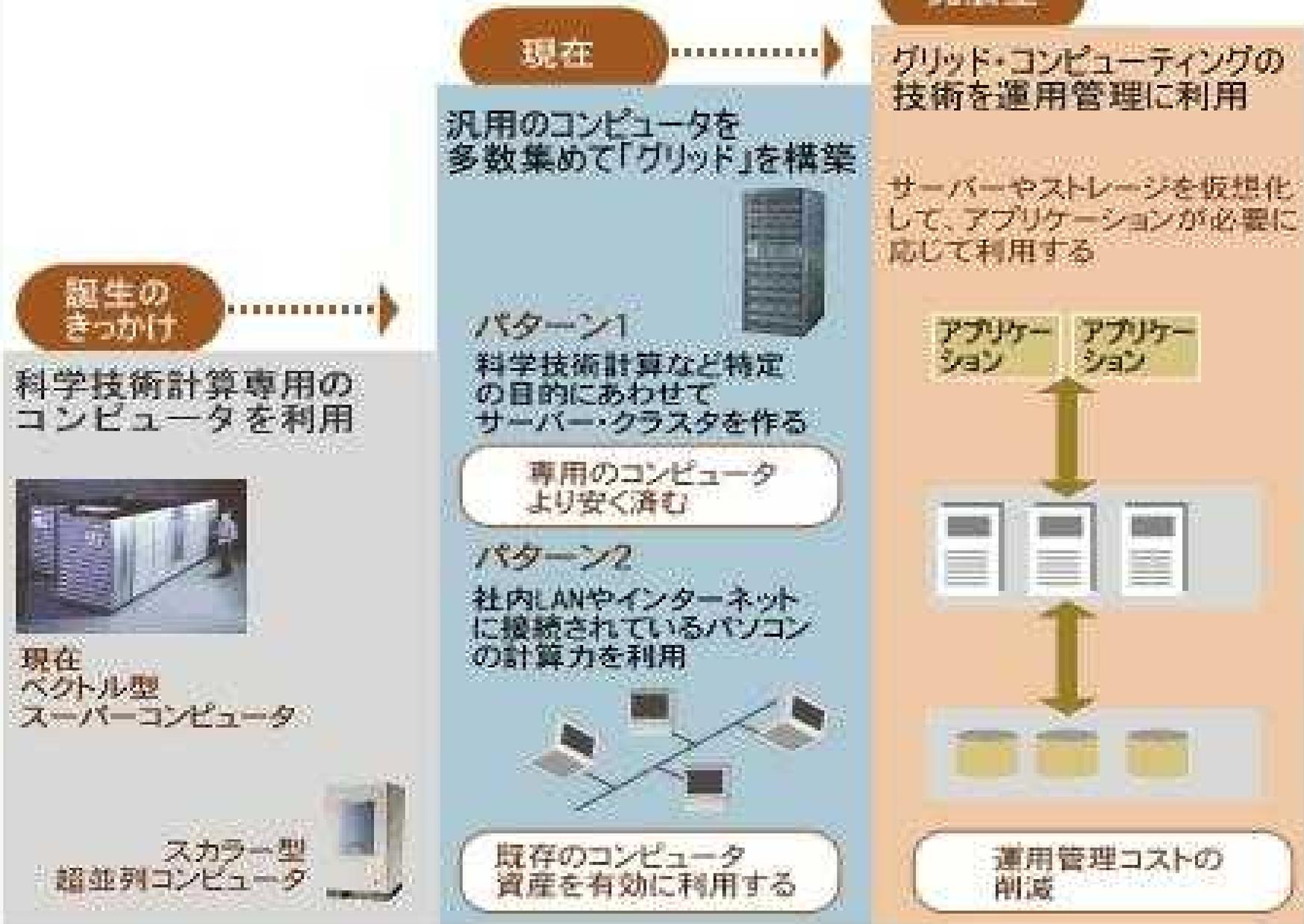
- 誰でも無償で使用でき、メンテナンス費用もかからない
- Microsoft Officeと高い互換性をもつ統合オフィス・スイート製品
- 国際標準規格 (ISO) のOpenDocumentFormat (ODF) 形式
- PDF形式でのファイル保存が可能
- マルチプラットフォーム、マルチランゲージ対応
- ユーザ主導でバージョンアップや償却期間を決定できる

OSC2009で、
OpenOffice.org 3.0 (MS Office 2007対応) 新機能紹介中

地球環境におけるOSS活用

- 地球環境でITが最も貢献し得るのは、省エネ対策等の環境負荷低減 グリーンIT
 - ◇ シンクライアント (Server-Based Computing)、既設のPCをディスクレス化する法もある
 - ◇ OSS Xen等サーバ仮想化によるマシン集約、資源共有、空調抑制等による省エネ (消費電力、発熱量)
 - ◇ グリッド・コンピューティング環境 (Globus等) ではグリッド・アプリケーションはOSSで、グリッド既成標準環境のGlobusもアプリケーションもOSS (ソース公開)
 - ◇ SOA (サービス指向アーキテクチャ) のシステム基盤となるESB (Enterprise Service Bus)ソフトでも有力なOSS Mule

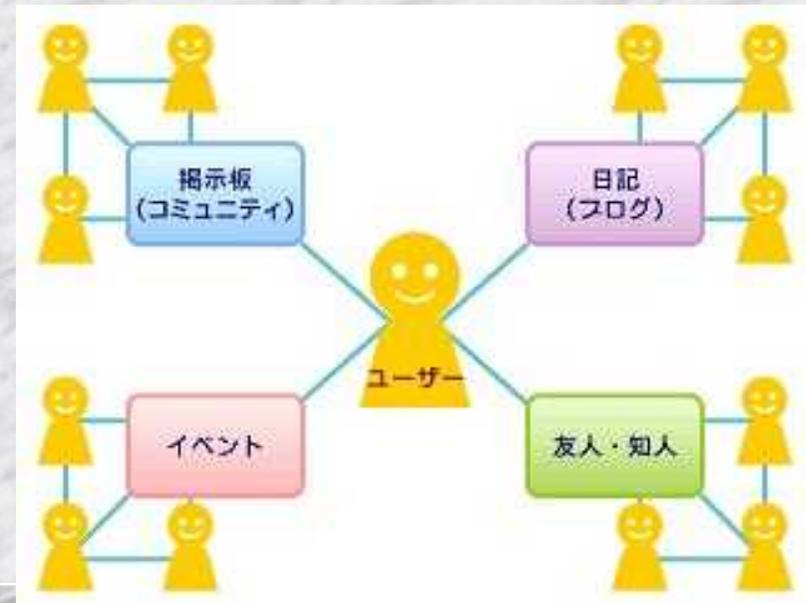
図1: グリッド・コンピューティングの位置づけ



教育にはオープンソースが向いている

教育システムや教育環境は、

- 誰にもオープンで、創造の多様性を提供するものであるべき
- 探究心を刺激し、発見や創造の喜びを得られるものであるべき
- オープンソースを育む
ネットコミュニティ社会になじむべし



OSS活用されるべき

日本の教育現場での課題

- インターネットを快適に利用できる小中高校の校内LANの都道府県別普及度(2007年) 平均 56.2%

ベスト3

岐阜	89.9%
富山	85.3%
長野	85.1%

ワースト3

東京	28.3%
奈良	29.0%
青森	31.5%

(この背景には、先生のIT素養の貧しさがある)

- 少子化による大学の統廃合
- 産学連携、クロスフィールドの推進

教育向けCMSはOSSの激戦区？

－LCMS： 教育向けCMS / eLearning向けCMS

- 大学eラーニング向け主体に普及進むMoodle

<http://portal.mie-u.ac.jp/moodle08/>

OpenOffice.org研修用教材(アシスト社)、トキ検定(MSCO)などの教材作りのMoodle使用も

- Webサイト構築用に普及進むNetCommons

<http://www.yakushima-town.jp/>

NetCommonsプロジェクト：国立情報学研究所(NACSIS)母体に日本ユニシスグループ、CSソリューション、SRA、NTTアドバンステクノロジー、イーネットからも開発者が参加。

< OSSAJ、MSCO共通の取組み例(2) >

日本医師会のORCAプロジェクト支援

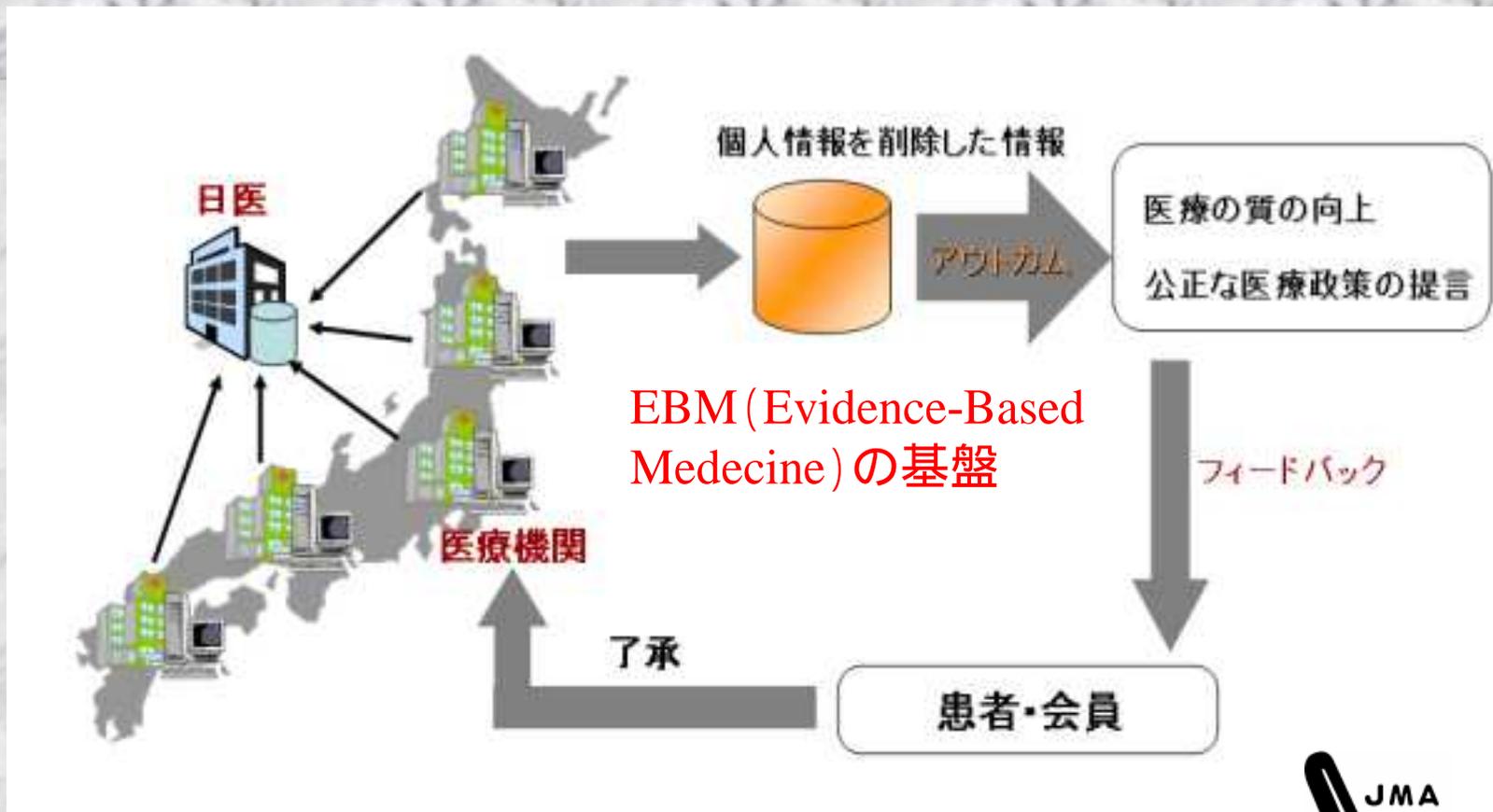
. 日医IT化宣言に基づくプロジェクトの成り立ち

- ◆ 全国10万余の医療機関が診療報酬請求の専用機(レセコン)を導入、データ互換性なく、ネットワーク化阻害という現実の打破
- ◆ 既成レセコンのメンテナンス費用含めた高額過ぎを改める

. ORCAシステムのオープンソース化

- ◆ 日医は全医療機関のIT化と標準化を急務とし、オンライン診療レセコンシステム(ORCA)を開発、無償公開する
- ◆ OSもソフトウェアも全てオープンソース化、無償提供とし、総費用のコストダウンを実現する、コストダウンを医療負担の軽減に還元する
- ◆ ユーザーの希望で、ORCAを自由に改良できる
- ◆ 毎年の診療報酬(点数)改定時の更新は、ネットワークでORCAが一元的に行う ~ 専用レセコンから標準ネットワーク端末レセコンへ

ORCAネットワークの意図する構想



日次単位で受療や罹患の状況をモニタリングし、
広く国民に提供できる仕組みを目標とする。



ORCA稼動状況

日医標準レセプトソフト

稼動状況

2008-12-15現在

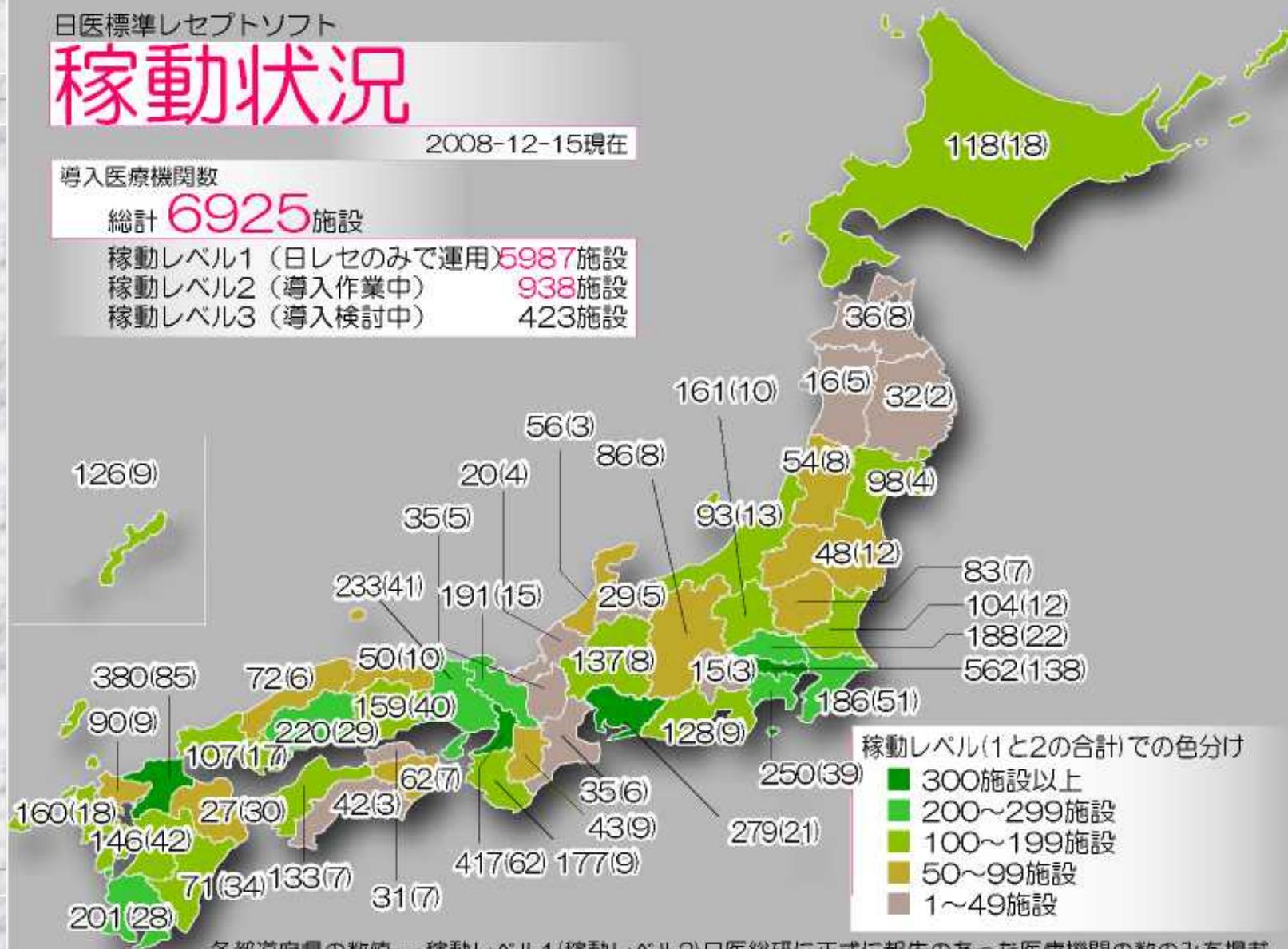
導入医療機関数

総計 **6925** 施設

稼動レベル1 (日レセのみで運用) **5987** 施設

稼動レベル2 (導入作業中) **938** 施設

稼動レベル3 (導入検討中) **423** 施設



各都道府県の数値・・・稼動レベル1(稼動レベル2)日医総研に正式に報告のあった医療機関の数のみを掲載

ORCAプロジェクトの活動内容(整理)

- アプリケーション開発(すべてオープンソース):
 - ◇ 日レセソフト(無床診療所版、有床診療所版)
 - ◇ 介護ソフト(医見書 / 主治医意見書作成支援、給管帳 / 給付管理・介護報酬支援、訪看鳥 / 訪問看護専用請求支援)
- ネットワークセキュリティ(日医認証局実証実験中)
- 決済・金融(J-Debit日医電子決済サービス)
- マスタ開発:使用禁忌データベース、傷病名マスターデータ、レセプトチェックマスターデータ
- 法務:日医オープンソースライセンス管理、認証局運用規定
- メンテナンス:ORCAサポートセンター、日医IT認定事業所

ORCA構想普及上の障壁

- 日本医師会に属する医者(開業医8万5千人、勤務医8万人)は日本全医者のおよそ6割、特に属さない医者の大勢を占める都市部の大病院、大学病院の大手ベンダーが支配するプロプライエタリな医療システムがORCAの構想には当面对応しないだろう。
- 患者の情報を保有するサーバーを、個人情報保護上の規制で、サーバーを管理する医療機関以外とネットワークで共用することができないため、医療機関をまたがる医療サービスが規制され、患者への負担がかかる。
- 医療システムを手がける医療機関やベンダーのオープンソースソフトウェアを扱う技術と経験の向上がORCAベース医療の進歩の鍵。

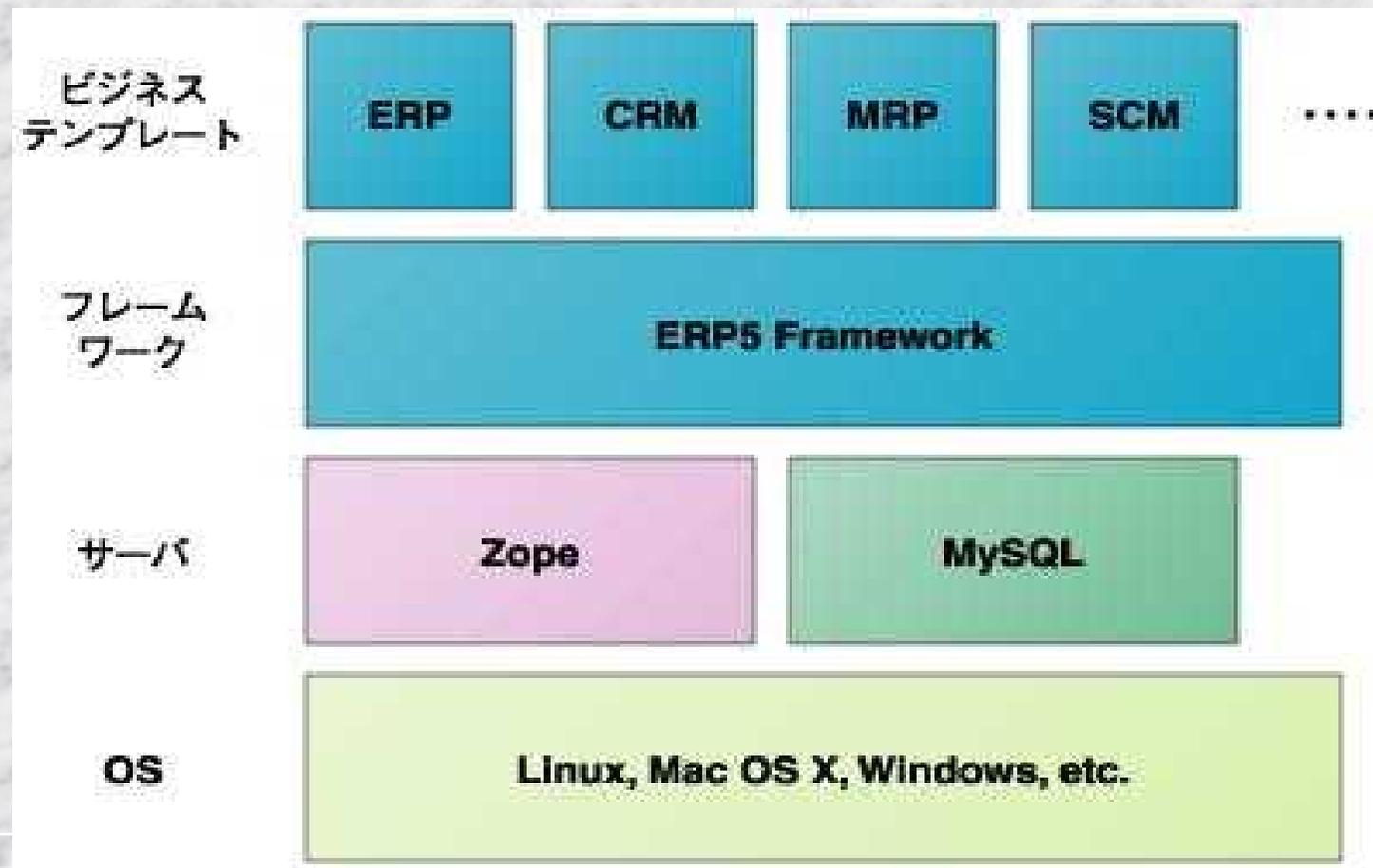


ERPもオープンソースの時代へ(1)

- 商用のSAP / R3に代表される業務横断型ソフトウェア (Enterprise Resource Planning) OSSが発展の兆し
- ◇ Compiere (米compiere社開発) : カスタマイズの容易さや柔軟な拡張性、マルチ言語、マルチ通貨、マルチ単位等への対応で、流通 / サービスの中小企業向けに短期導入しやすく、世界中のパートナー経由で普及進む
- ◇ ERP5 (仏Nexedi社開発) : 難解なアパレルメーカーの現場ニーズから誕生した多次元データ構造等、柔軟性に富み、アパレル、航空宇宙、中央銀行、病院、水道局など、欧州、アフリカでの実績を経て、2008年に日本に進出
- ◇ HOOP (KN情報システム他) : IPA支援プロジェクトが発端の国産(広島発)のERP

ERPもオープンソースの時代へ(2)

ERP5は、Pythonを開発言語とし、ZopeとMySQL上に構築されたフレームワーク上にユーザー業務を構築



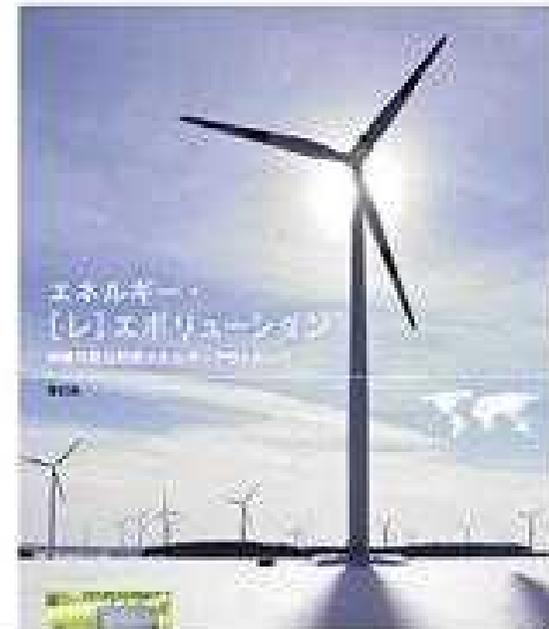
最後に改めて

企業や国の枠を超えて地球環境を考える時

企業や国の枠を超えた知恵の結集とボランティアの結集で、ITエコシステムを！

佐渡の大空にもう一度朱鷺が
舞う日を！

<http://toki-sado.jp/fanclub/>



経済優先から環境優先で
豊かなライフサイクルを！
Beyond Web2.0の真価を問う

धन्यवाद दान्यामार्द(ありがとう)

ご清聴、ありがとうございました。
今後とも、よろしくお願いいたします。

koikari_teruo@cal.ne.jp

mixiハンドル名： コイ